

シアトル別院時報

30巻 6月号

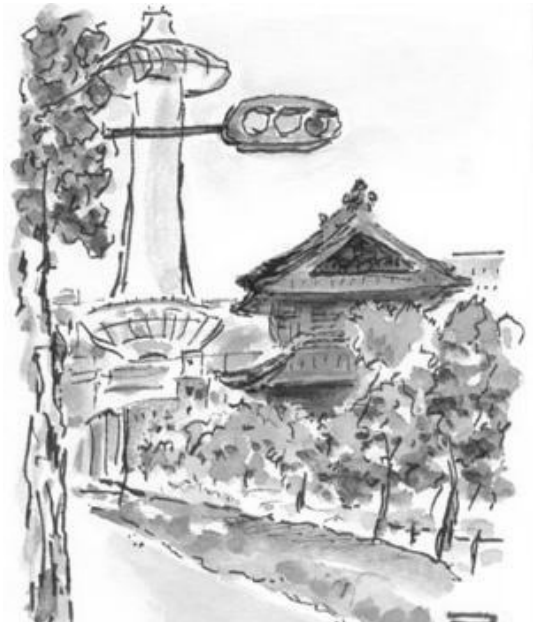
2011年度教化標語
世の中安穩なれ

乞食坊主の体験



新井俊一

2011年5月15日、私は朝7時に家を出て、8時40分に京都の本願寺に着きました。私は当日、親鸞聖人750回大遠忌法要に、ハワイ教団の人たちと一緒に参拝することになっていました。お茶所で、ホノルルの仏教研究所所長・宗藤達雄師に会い、それから、ハワイから来た真宗信者の方々と再会しました。私がお茶所で立っていると、シアトルから来た信者の方々が私を見つけて、お互いに再会を喜び合いました。そのあと、御影堂の中で、カナダ教団の人たちとも再会しました。外国でご縁をいただいた方々と一度に再会できて、大変うれしかったです。



大きな御影堂は日本中から集まった信者さんと、海外からの信者さんでいっぱいでした。大遠忌法要は厳粛にそして感動的に行われました。私たちは心をついに一つにして、お経を唱え、仏教讃歌を歌いました。

法要のあと、御影堂の前で立っていると、シアトルの女性たちが私を見つけてくれて、これから昼食に行くから一緒に来るように誘ってくれました。昼食は隣の聞法会館の横にできた臨時の食堂で用意されていました。シアトルの方々も前もって弁当を注文しておられたのですが、私は注文していなかったので、もう私は帰るから、私にかまわないで、と言ったのですが、その中のお一人が、私の弁当を半分上げるから、一緒にいなさい、と言って、そばに座らせました。すると4、5人の女性たちも自分の弁当を持ってきて、少しずつ分けてくれたので、私の分は、弁当一個分より多くなりました。また私はお一

6月の予定

- 4日 日本語聞法セミナー
九条英淳師 10-4時
- 5日 10時 別院先亡会員
追悼法要
日本語法要 九条英淳師
- 12日 10時 ダーマスクール
表彰式法要
- 11時 日本語プログラム
- 19日 10時 家族法要
11時 日本語プログラム
- 26日 10時 総長・輪番忌法要
11時日本語プログラム

人のお茶までいただいてしまいました。始めて、私は乞食坊主として、食べ物をいただく喜びを体験しました。またその女性方と楽しいおしゃべりをして、至福の時を過ごしました。

よく考えてみると、他人の親切を受けるのは喜びであり、自分の親切が受け入れられるのを見るのも喜びでしょう。私たちは通常はお金を出して食べ物を買いますが、その場合でも食べ物をいただく時と同じ喜びと感謝を忘れてはいけないと思います。食べ物は自然からの頂き物であり、お金はその感謝の印に過ぎないのですから。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。
先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

16 恩愛

沼田智秀著「ささえあって」百八つのおもい より

親子・夫婦の愛、肉親の情を恩愛といいます。それは愛情や恩にひかれた執着でもあります。

恩とは、何がなされ、私が私として、今、ここに存在する原因が何であるかを心に深く念うことですから、人間として大切なことなのですが、それが執着となりますと否定されるべきものとなります。

特に仏道修行においては、恩愛は修行の妨げになり、断ち切らねばならないものなのです。「流転三界中、恩愛不能断、棄恩入無為、真実報恩謝」の偈文を得度するとき僧侶がとなえますが、この文のころは、この世において恩愛は断ち難いが、恩愛を棄てて真実を求めることこそが真実の報恩になるということです。

親鸞聖人は、

「恩愛はなはだちがたく、生死はなはだつきがたし、念仏三昧行じてぞ罪障を滅し度脱（生死流転から逃れでること）せし」（高僧和讃）

とうたわれています。



ダーマ・スクール

6月12日が最終日になります、当日は高校卒業生のお祝いと皆勤賞の授与があります。

エリオットとその他の父兄が花御堂を用意しました、感謝します。またロンと父兄が花まつりのランチを用意しました。花御堂の横にあったマグノリアの木はDSの家族が寄付しました、アースデイとしてウイステリア・パークの

親鸞聖人像の横に植樹しワーリック先生と共に法要がおこなわれました。

4月29日—5月1日にフレズノでおこなわれたDS フェデレーション・コンフェレンスにシアトルから9人の先生が参加した。ブリッジ先生の基調講演も大会テーマの「コネクテッド」に合わせテクノロジーをいかに活用するかとし、参加者はテンプレットのつまったフラッシュ・ドライブをおみやげに帰途についた。

会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は2011年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250（\$500 ご夫妻）、70才以下は\$300（\$600 ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。



ウォーク・フォー・ライス

今年の AGRS のファンドレイズ催しのウォーク・フォー・ライスは 6 月 18 日、スワード・パークにて、2.5 マイルを歩きます。

“Seattle Buddhist Church” でレジスターしてあります。

www.walkforrice.org で皆に参加して歩くか、現金の寄付をするかで支援しましょう。事務所前にも寄付用紙があります。

当日は 8 時にレジスターが始まります午後 1 時にはすべて終わります。またグループの集合場所は追って知らせます。

詳細はデーブ アッチソンまで。

ミュージック・ノート

母の日のウクレレとサクスの演奏の「クワイエット・バレー」と「ありがとう」は大変好評でした。演奏者もとても楽しかったとのこと。お寺のウェブ・サイト www.seattlebetsuin.org では演奏がユーチューブに接続して見られます。

(演奏者は市川サット、原野ブランドン、コー・エバン、為国マス、山崎スティーブ)

8 月 7 日の被爆者追悼法要には小杭総長がご出席になり、クワイアーは当日は「千の風」を歌う予定です。合唱に参加ご希望の方に各自で練習するか、合同練習しやすくするために予定を計画中です。興味ある方は中林ケミか谷野テリーまで連絡してください。



日本語法要・プログラム予定

6 月 4 日 日本語聞法セミナー 10-4 時 係り 藤井藹子・青山さえこ

九条英淳師 前サン・マテオ仏教会 開教使

人間はどうせ死んでしまうのに、なぜ生きていかななくてはならないのか？
(あなたにとって、いま生きている事の意味は何でしょうか？)

6 月 5 日 日曜法要 ご法話 九条英淳師

6 月 12 日 ビデオ法話 桑原浄信師 「触光柔軟の働き」

6 月 19 日 ビデオ法話 海野マーク師
「裏を見せ、表を見せて散る紅葉」

6 月 26 日 ビデオ法話 桑原浄信師
「無常と無我について」



桑原先生

7月の予定

- 9日(土) お盆セメタリー法要
マウント・プレザント・セメタリー(クィーンアン)
ワシントン・メモリアル(シータック) レークビュー(キャピタルヒル)
- 10日(日) お盆・初盆法要 シアトル別院にて
エバグリーン・ワシヤリ(ノース・ゲート) サンセット・ヒル(ベルビュー)
- 16-17日 シアトル盆踊り
- 22-24日 NWWBL リトリート
- 29-31日 赤星けんじ リトリート



婦人会便り

会長のメッセージ

八幡静江

今年もBWAでは3人の新入会員を迎え(鹿島加奈子、比嘉リンダ、ピアソン・エモリーと去年の新入会員キーリー・ドーン)入会式法要・昼食会を催しました。私たちはこの様な有能な婦人たちを迎えることが出来大変幸せに思います。今年はまだ、百歳になられた平林常子夫人も出席されませんでした、表敬いたしました。

馬場ジャネット、和田真知子の両副会長には恒例の催しを計画してもらい感謝いたします。また、谷野テリーと高島清子には新会員へのヘルプ、川原律子はお弁当の手配、秋月ルイズにはコサージュ、グローブス・フミにはプログラムと名札をお世話になりました。

13名の会員が京都での親鸞聖人750回大遠忌法要と第14回世界仏教婦人大会に出席しました。シアトル会員の桑原絹江、新宅フランシスの2名が法要の縁儀(えんぎ)(入場行列)に参加する栄誉を受けました。

寄付欄

ご寄付を頂いた方々のお名前は英語面をご覧ください。

婦人会活動報告

6月8日9時半-12時、ダイニングにて清水夫人の水引クラス。ブックマークと髪飾りを習います。

6月22日9時半より12時、ダイニングにてお盆で販売の品作り。折り紙ブックマーク、折り紙カード、マグネット・ブックマーク。
サインアップは事務所前にあります。

行事予定

- 6月12日 SBBWA 理事会会議
6月25日 ラカナー・ディセプション・パス一日旅行

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

